



貴志川線の未来を“つくる”会
kishigawa-sen.com

貴志川線の未来を“つくる”会

発行／貴志川線の未来を“つくる”会 発行者／濱口 晃夫
〒640-0361 和歌山市伊太祈曽558 TEL 073-478-0053

VOL 6
2010.6

21年度決算 運輸収入等 微減 経常損益は2年続けて補助の範囲内に

輸送人員微減し217万人

和歌山電鐵は平成21年度決算を発表しました。

これによると、運輸収入は前年度比1.8%減の3億3,117万円、輸送人員は前年度比0.9%減の217万人となり、平成18年の和歌山電鐵の発足以来、初めて前年を下回る結果となりました。

運輸収入の内訳では、定期外で前年度比3.3%の減、通勤定期が3.0%の減となり、不況、新型インフルエンザ、高速道路の大幅割引という公共交通全般の苦境が貴志川線にも表れた実績となりました。なお通勤定期については、5.6%の増となっています。

経常損益7,624万円の赤字

この結果、本業（鉄道業）の損益を示す営業損益では9,809万円の赤字、これにグッズ販売等の収益や昨年11月の水害による損失等（営業外損益）を加え、経常損益では7,624万円の赤字となりました。昨年度に引き続き、8,200

万円を上限とする和歌山市・紀の川市の運営補助金の範囲内に損失を抑えたこととなります。

和歌山電鐵では、「赤字補填のための補助金を極力使わず、自立した経営、貴志川線の永続を目標に努めているものの、取り巻く環境は引き続き厳しい。多くの鉄道施設の老朽化が進んでいる中、現在は国・県の補助により変電所の昇圧対応工事を中心に行っているが、分岐器等の線路設備の更新も迫られている。地域の皆様とともに今後も精一杯経営努力して少しでも補助金をお返しし、赤字を最小限に抑える実績を残した上で、いま検討されている交通基本法による交通権の保障（→道路作り一辺倒から公共交通の保障へ）を柱とした施策に向け、積極的に提言を行っていきたい。また22年度は国・紀の川市の補助をいただきながら、貴志駅を“木の国”にふさわしい世界でも唯一の檜皮葺の駅舎に建替え、地域および貴志川線の活性化に努めたい。」としています。



貴志駅 全面 リニューアル

8月4日
完成
セレモニー

リニューアル工事中の貴志駅が近日完成し8月4日（水）9時50分から完成披露セレモニーが行われます。新貴志駅は、世界で一つ、日本伝統技術の継承・保存に屋根を「檜皮葺」としたネコ顔駅舎が誕生します。和歌山電鐵では、日本の匠の技術を100年先に残すために「たま駅舎」サポーターを募集しています。

申し込み期間は平成22年10月15日まで

再び廃線の危機に窮しないように



貴志川線の未来を“つくる”会 代表 濱口 晃夫

『貴志川線の未来を“つくる”会』が発足してから今年の9月で丸6年、『和歌山電鐵株式会社』が設立されてから丸5年となります。したがって新生『貴志川線』も和歌山電鐵により走り出してから5年目に入り、一つの節目となります。この間の活動状況については、そのつど色々な方法で報告してまいりましたが、新しい会員様もいらっしゃいますので今一度振り返ってみたいと思います。

顧みますと『貴志川線の未来を“つくる”会』は当時の南海貴志川線の存続を願って6年前に発足し、スタートいたしました。

しかし、同じ9月末には南海電鐵は国に対し、貴志川線からの撤退の届けを提出し、1年後の10月1日からは廃線とのレールが引かれてしまいました。大変厳しい状況の中での船出でした。

私たちは、このような活動には経験もなく、手探りのスタートでしたが、その後役員が時間の許す限り、色々なところでかけ、貴志川線問題の本質について説明し、ご意見をいただきご理解をいただくよう努めました。

その結果、多くの住民の皆様方のご賛同をいただき、

これを受けて県、市、町の関係の皆様にもご理解をいただき、行政のご支援のもと「和歌山電鐵」により存続することとなりました。貴志川線の存続は住民の皆様「廃線にさせてはならないという熱い願い」そのものの大きな成果でありました。

今、貴志川線は皆様のご支援と和歌山電鐵の社員の皆様のご努力、ご活躍・働きのお陰で、乗客数が少しずつ増加してきました。しかし、昨年度は不況等の影響もあって前年比少し減少いたしました。まだまだ赤字を脱却し黒字経営とまではいっていません。

鉄道は一度無くなると、二度と再生は不可能です。貴志川線は、我々住民の貴重な財産です。決して他人事とは思わないで下さい。安心しないで下さい。6年前の廃線の危機感を思い出して下さい。乗客は6年前に比べ少しは増加していますが、永続するにはまだまだ厳しい状況にあります。皆様の更なる永続への熱意、ご協力、ご支援が必要です。

再び貴志川線が廃線の危機に窮しないように、一度でも二度でも、今まで以上に、貴志川線を利用し、乗っていただくよう重ねてお願いいたします。

(平成22年6月)

2010年度(平成22年)役員名簿

(平成22年6月12日第5回役員会確認)

役 職	名 前	役 職	名 前
代 表	濱 口 晃 夫	幹 事	山 下 日 出 子
副 代 表	奥 重 視	//	梶 本 祥 子
//	木 村 幹 生	//	西 本 哲 夫
事 務 局 長	奥 山 和 生	//	川 口 昌 宏
事 務 局 次 長	奥 重 貴	//	稲 置 佳 広
//	堀 内 健 作	//	織 田 元 宏
//	川 村 記 義	//	森 山 正 雄
//	富 高 彰	//	中 川 隆 人
会 計	堀 瑛	//	藤 田 宗 治
幹 事	杉 林 雅 義	//	内 芝 あ ず さ
//	中 西 由 子	//	山 本 滋 子
//	小 山 裕 史	監 査	山 本 好 延
//	吉 本 昌 純	//	中 西 充 子
//	岩 垣 勉		

住民の熱意でさらに発展を

ありがとう！

もっと！ずっと！

貴志川線

「結成5周年記念の集い」に500人



出席いただいた仁坂知事はじめ来賓の皆様からお祝いの言葉をいただきました



和歌山市立有功東小学校の4年、6年生が「がんばれ貴志川線」と総合学習の成果を発表してくれました

5年を振り返り新たな決意を固め合う

貴志川線の未来をつくる会は平成21年12月20日、結成5周年と和歌山電鐵開業4周年を祝う集いを貴志川「かがやきホール」で開き、5周年の運動を振り返り、永続に向けて運動を進める新たな決意を誓い合いました。

集いには、仁坂知事、大橋和歌山市長、中村紀の川市長、岸本代議士、県会議員、市会議員の来賓をはじめ500人が参加、集いは第1部「記念セレモニー」第2部「永続に向けて」として、和太鼓、対談、5年の歩み映像、合唱、児童の学習成果など多彩な催しが行われました。

和歌山電鐵が全駅に結成5周年を祝う横断幕掲示



ありがとうございます
ございます

「たま駅長」もお祝いに来てくれました



横断幕

貴志川線の未来をつくる会

22年度 新規 入会募集集中です

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。

22年度会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会費 年額1,000円 (期間:加入日に関わらず2011年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

〔事務局〕和歌山市伊太祈曾558 伊太祈曾神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホーム 7月2日(金)、3日(土)、4日(日)15:00~19:30

貴志川線の未来をつくる会

平成22年度
(2010年)

活動計画

街づくりと結合し、地域とともに歩む貴志川線めざして

はじめに

私たち「貴志川線の未来をつくる会」は、昨年（2009年・平成21年）12月20日、紀の川市「貴志川生涯学習センターかがやきホール」で、会の結成5周年と和歌山電鐵開業4周年を記念する大集会を開催しました。

集会では5年間の歩みを振り返り、貴志川線を存続させた成果を確認するとともに、貴志川線の永続に向けてさらに活動を進める決意を参加者全員で誓い合いました。

廃線の危機を乗り越えて、発展する貴志川線ですが、未だ赤字経営であることに変わりはなく、永続させていくためには、欠損補助金に頼らない自立した安定経営にしていかなければなりません。

今日の貴志川線の経営を支えている行政の欠損補助金も、10年間の限定であり、本年度はその中間の年度を迎えることになりました。

私たち「貴志川線の未来をつくる会」も貴志川線の存

続という当初の目標を達成しましたが、永続させていくという大きな課題を持っています。永続させていくためには、今後も行政の皆さん、事業者など関係者と力を合わせて活動を進めていかなければなりません。そのためには、会の運営のあり方をも含めて活動に一層の努力が必要な時期を迎えており、存続を目指す活動を第1期とすれば、永続をめざす第2期の活動に入ったと言えます。

「和歌山電鐵・貴志川線」は、これからも私たちの地域に絶対必要な、無くしてはならない公共交通手段です。

本年度、「貴志川線の未来をつくる会」は、和歌山電鐵の掲げる「日本一心豊かなローカル線」となるよう、

①みんなで利用し支える、②みんなが使いやすくなることを考える、③みんなが楽しくなるようなイベントを考え、また乗りに来たくなるような優しいローカル線にする、④街づくりの取り組みと結び「地域とともに歩む貴志川線」をめざして活動を進めることとします。

1 貴志川線をめぐる状況

21年度貴志川線の(1)乗車人員は217万102人(20年度比1万9,989人減の99.1%)、(2)運輸収入は、3億3,117万5,452円(20年度比596万279円減の98.2%)となりました。

新生貴志川線発足(平成18年)以降、毎年乗車人員、運輸収入共、前年度を上回ってきましたが、初めて両方も対前年実績を下回る厳しい結果となりました。しかし、南海電鐵経営最終年度の平成17年度と比べれば、乗車人員は13.9%、運輸収入は20.0%の増となっています。

この要因としては、鉄道界全体通しては①不況で外出が少なくなった、②夏のインフルエンザ流行、③高速道路休日1,000円などがあり、和歌山電鐵としては①「たま駅長」の約1ヶ月の休業、②昨年11月の水害による全1日の運休の影響などが考えられます。減少した乗車人員ですが、通学定期(大人)が対前年104.6%と増えていることは、厳しい結果の中では喜ばしいことです。

収支決算については、本業(鉄道業)の損益を示す営業損益では9,809万円の赤字となり、これにグッズ販売等の収益や、昨年11月の水害による損失等(営業外損益)を加えた経常損益では7,624万円の赤字となりましたが、昨年度に引き続き、8,200万円を上限とする和

歌山市・紀の川市の運営補助金の範囲内に損失を抑えることができました。

この様に、21年度も赤字体質は続いており、「少子高齢化」「モータリーゼーション」が進む中で、貴志川線をとりにくく環境は相変わらず厳しいことには変わりはありません。

しかし、(1)行政、住民、学校、商工関係などで構成する「貴志川線運営委員会」が有機的な連携で機能していること、(2)沿線や地域の各団体などとの協働が進んでいることなど、貴志川線に対する地域の積極的な協力、支援の輪が広がっていることは前進への大きな財産といえます。

また、本年度は2007年(平成19年)施行された「公共交通の活性化および再生に関する法律」に基づく「貴志川線公共交通総合連携計画」による事業の実施プログラム(H20年～H22年)の最終年度に当たり、貴志川線の持続的な発展と、魅力ある貴志川線をめざした各種取り組みが引き続き実施されております。

政府は、国民の移動する権利を保障する「交通基本法」を制定し、交通網の充実により地域の活性化につなげていこうという政策を進めており、地方鉄道の再生と活性化に寄与するものとして、期待したいものです。

2 基本方針

貴志川線の未来をつくる会は、その活動の目的を「和歌山電鐵貴志川線が、環境に優しく利用しやすい鉄道として発展していくことを願って関係機関と連携して活動をする、及び沿線住民等への啓発活動を目的とする」と会則に掲げています。

る」と会則に掲げています。

本年度も、この掲げる目的に基づいてその実現と推進のために、和歌山電鐵、行政、関係団体と連携して、街づくりと結合させ、出来ることからみんなで取り組んでいくという結成以来の想いを引き継ぎ、本年度も次に掲げる活動に取り組みます。

3 重点目標

(1) 快適・便利で、利用しやすい貴志川線の実現をめざします

①大池遊園駅の電車対向設備復活

大池遊園駅の対向設備を復活させ、伊太祈曾～貴志間の電車本数増発を可能にします

②日前宮～神前駅に新駅設置（津秦付近）

日前宮～神前駅間に「津秦（仮称）」を新設し、新たな利用者を開拓します

③駅設備、ダイヤなどの改善を求めています

駅へのスロープ・手すり設置（バリアフリー）、トイレ新設・改善、ベンチ設置など、駅設備の改善と、利用しやすいダイヤ改正などを求めています

(2) 「チャレンジ250万運動」を実施し、黒字化をめざします

和歌山市・紀の川市の貴志川線への赤字欠損補助は10年間の限定となっており、あと5年で期限がきます。貴志川線の黒字化は年間250万人の利用で達成できます。現在約217万人ですから、沿線にお住まいの方（沿線人口和歌山市55,813人、旧貴志川町域18,015人）が年間さらに4回（2往復）乗っていただければ、観光客の増と合わせて実現することができます。

住民の利用促進を訴える運動を本年度から「チャレンジ250万運動」として積極的に進めます。

4 具体的な取り組み

(1) 住民の声と想いを結集できる「つくる会」を創り、発展させる行動に取り組みます

①本年度も会員数3,000名以上をめざして、あらゆる機会に入会を呼びかけます

②ボランティア登録スタッフの拡大と活動参加に取り組みます

③会員アンケートを実施し、会員の要望集約を行い、和歌山電鐵や運営委員会に反映し改善を図っていきます

④ホームページ、「貴志川線ニュース」、「会報」などを通じ広報・啓発活動に取り組みます

⑤活動の発展へ役員会への新規参加を求め、定期開催を引き続き実行します

⑥地域の様々な行事、イベント、祭りなどに積極的に参加して、会のPR、啓発行動を行うとともに街づくりとの協働をめざします。

(2) 貴志川線永続へ利用促進と“日本一こころ豊かなローカル線”づくりに取り組みます

①利用促進へ各種イベントの開催などに引き続き取り組みます

②地元住民へ「あと年4回乗って黒字にしよう」の呼びかけを積極的に行います

③貴志川線のシンボル車両の魅力発信に取り組み、観光客の誘致に努めます

④JRや企業、各種団体との連携、協働に取り組みます

⑤第5回「貴志川線祭り」の開催と成功を目指します

⑥多客期に駅への応援活動を行います（混雑防止、お客さまへの案内等）

⑦「マイレール・マイステーション」へ駅の美化活動（清掃・花植栽・塗り替えなど）に多くの会員と団体の参加を求めて引き続き取り組みます

⑧「日本一心豊かなローカル線」へ「鉄道利用マナー向上」、「手を振る運動」の実施と呼びかけを行うとともに、社員のサービスレベルの向上を求めています

⑨「さくら街道 貴志川線」を中心に、花のあふれる沿線作りに引き続き取り組みます

(3) 地方交通線の存続・活性化へ学習・政策活動に取り組みます

①学習会、シンポジウムなどの開催、参加に取り組みます

②地方鉄道活性化に取り組む関係団体との交流活動に取り組みます

③交通政策に関わる学習と資料の収集、活用に取り組みます

つくる会活動日誌 (抄)



▼ '09/9/19
グッズ販売と貴志川線のPR、四季の郷公園ハギ祭り

▲ '09/6/14
甘露寺前駅にガールスカウトの皆さんと「つつじ植樹」



▼ '09/11/13
設備改善進む
伊太祈曾駅駐車場舗装と照明完成

▲ '09/10/18
会の入会呼びかけとPRのため、沿線ポスティングの準備



▼ '10/3/5
甘露寺前駅にPR看板
貴志川高校の生徒さんが設置

▲ '09/12~'10/1
迎春準備
伊太祈曾駅に門松、イルミネーション



▼ '10/3/28
いちご電車で歌声喫茶
アコーディオンに乗って歌声響く

▲ '10/3/14
14回目の駅清掃に54名
大池遊園駅の清掃とペンキ塗り



▼ '10/5/22
がんばれ和歌山地域
「紀州レンジャーズ応援電車」

▲ '10/5/13
粟生線を考える会と交流
地方鉄道再生へ力をあわせよう



- 4月 4土 大池遊園にてグッズ販売(5日も)
- 11土 第1回役員会(21年度)以降25回開催
- 12日 じゃがいも畑草引き
- 16木 第1回貴志川線活性化再生協議会、運営委員会以降毎月1回定期開催
- 19日 第4回「竹林観察会、タケノコ掘り体験」(103名)
- 26日 「ふるさと線を守る東日本連絡会」との交流会
- 5月 2土 貴志駅GW多客期応援(4/29、5/3~6)
- 6月 2火 常磐線複数線化促進期成会・水戸線期成会講演
- 7日 第2回「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」(340名)
- 12金 JR西労組中央本部青年女性委員会交流会
- 14日 駅美化「甘露寺前駅つつじ植樹」(50名)
- 27土 21年度会費納入依頼文書・会報発送(73名)
- 7月 9木 地域公共交通活性化・再生優良団体表彰受賞
- 25土 和歌山生協病院夏祭り出店、グッズ販売
- 30木 「夏休み電車教室」チラシ配布(輪くぐり参加者)
- 8月 6木 「夏休み電車教室」応援
- 7金 京都交運「夏季交通視察・学習交流会」
- 8土 貴志川町西貴志コミセン夏祭り出店
- 12水 「夏休み電車教室」応援
- 14金 ~15土 貴志駅多客期応援
- 22土 貴志川町長山団地盆踊り大会出店
- 26水 「夏休み電車教室」応援
- 9月 13日 近畿SBN和歌山研修ツアーとの交流会
- 19土 ~20日四季の郷公園「ハギまつり」グッズ販売出店
- 20日 「たま自転車」レンタサイクル開業式
- 10月 4日 貴志川町西貴志コミセンまつり、出店、展示
- 10土 ~11日「わかやま商工まつり」出店、展示
- 18日 入会呼びかけ沿線ポスティング(800通)
- 20火 貴志駅改修、安全祈願神事、デザイン発表
- 11月 6金 龜山駅ペンキ塗り変え 70名
(三田地区民生児童委員協議会、さんた保育園)
- 8日 貴志川町丸柄コミセン文化展グッズ販売出店
- 13金 長野市議会公共交通対策特別協議会視察、交流会
- 28土 岩出「かくばん祭り」グッズ販売出店
- 12月 6日 イルミネーション設置(伊太祈曾駅)
- 12土 「クリスマス電車」プレゼント袋つめ作業
- 13日 「クリスマス電車」応援
- 20日 「貴志川線の未来をつくる会結成5周年の集い」
- 27日 迎春準備準備門松製作、伊太祈曾駅に設置
- 1月 3日 たま駅長「役員就任式」
- 16土 貴志駅ありがとうイベント
- 2月 7日 じゃがいも苗植え付け作業(20名)
甘露寺前駅草引き
- 18木 貴志駅新築工事地鎮祭
- 3月 13土 大池遊園駅、清掃・ペンキ塗り事前準備作業
- 14日 第14回駅清掃、大池遊園駅清掃ペンキ塗り(54名)
- 15日 「いちご電車でいちご狩り」応援
- 20日 「第5回 貴線祭」
- 21日 「ミニトレインと宝探し」応援(600名)
- 23月 和歌山市議会「市民クラブ」勉強会
- 28日 「いちご電車で なつかしの歌声喫茶」(60名)
- 4月 4日 「花の貴志川線ウオーク」(60名)
- 10土 第1回役員会(22年度)以降6月で5回開催
- 11日 じゃがいも畑草引き
- 18日 「第5回貴志川線に乗ってたけのこ掘り体験」(77名)
- 29木 貴志駅GW多客期応援(5/1・3~5)
- 5月 3日 龜山駅清掃、花植栽(三田地区日赤奉仕団約20名)
- 13水 神戸電鉄粟生線を考える会視察・交流会
- 14日 第5回PIセミナー 事例発表
- 22土 「紀州レンジャーズ応援電車」(50名)
- 6月 3木 JR可部線可部駅・河戸駅間電化促進期成同盟会交流会
- 5土 「第3回じゃがいも掘り」事前準備作業
- 6日 「第3回貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」(460名)

2009年度会計決算がまとまりましたので、ご報告いたします

- 収入は、2009年度会員2,269名の会費と、前年度繰越金および寄付金、グッズ販売手数料、預金利息等です。
- 支出は、各種行動経費については役員、会員のボランティア活動をお願いし、効率的な執行により節約を図ってまいりました。本年度は「結成5周年記念の集い」を開催したため、支出合計で昨年度を若干上回りました。
- 繰越金の処理について
171万6,532円全額を次年度会計に充当します
- 基金および「特別会計」について
- ①「基金」は「貴志川線整備基金」として、行政の補助が10年間の限定であり、また貴志川線の施設・車両の老朽化が進んでいることから、将来に備えて2007年度から定期預金で積み立てをはじめ、利息を加えたものです。
- ②「特別会計」は「ニュース和歌山25周年記念助成金」を2008年（平成20年）3月にいただいたものを、普通預金として管理しているものです。本年度はホームページリニューアル、イベント用ポロシャツ製作に使用しました。

2009年度決算報告

〈収入の部〉

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	1,692,801	2008年度繰越金
会 費	2,269,000	2009年度会費 @1,000円×2,269名
雑 収 入	399,196	寄付金(34名様)、グッズ販売手数料、紀の川市花いっぱい運動補助金、預金利息等
預 り 金	32,000	次年度会費預り金
合 計	4,392,997	

〈支出の部〉

科 目	金 額	摘 要
通 信 費	457,699	はがき、切手代(会費納入・5周年記念の集い案内送付等)、電話料金、各種印刷物郵送等
郵 便 振 込 料	168,760	会費振込料(つくる会負担) 1,471名分
事 業 費	1,577,435	5周年記念乗車券、駅美化、各イベント開催経費、イベントガイド作成、会費徴収諸費等
広 告 宣 伝 費	159,600	もっと!ずっと!のぼり、ボール代、インターネット費用、チラシ等
事 務 費	182,971	役員会会場費、宛名シール、各種文具事務用品、コピー代、名刺代等
協 賛 金	130,000	貴線祭協力金(3万円)、貴志駅サポーター100口(10万円)
合 計	2,676,465	

〈決算内容〉

収 入	4,392,997
支 出	2,676,465
次年度繰越金	1,716,532

〈繰越金内訳〉

普通預金	1,541,830	ニュース和歌山25周年記念助成金(紀陽銀行国体道路支店)
現 金	174,702	
合 計	1,716,532	

〈基金内訳〉

定期預金	2,512,036	貴志川線整備基金(紀陽銀行国体道路支店)※2/27利息 5,016円2割
------	-----------	--------------------------------------

〈特別会計内訳〉

普通預金	971,323	ニュース和歌山25周年記念助成金(ゆうちょ銀行 友田郵便局)
------	---------	--------------------------------

科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越	1,501,926	HPリニューアル料	367,500
3/31利息	487	ポロシャツ(100枚)	162,750
		振込料@420×2	840
		次期繰越	971,323
合 計	15,02,413	合 計	1,502,413

会計監査報告

2010年4月24日

貴志川線の未来を"つくる"会

代表 濱口晃夫 殿

監 査 山本好延 (印)

監 査 中西亮子 (印)

貴志川線の未来を"つくる"会 会則第6条第8項
にもとづき2009年度(平成21年度)会計監査を
実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2010年4月24日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2009年度会計
4. 監査期間 2009年4月1日～2010年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

以上

ひろば

会員や観光客の皆様からいただいた感想や、要望、ご意見をご紹介します



先日は大変お世話になりました。すてきな写真もありがとうございます。和歌山は初めてでしたがすばらしい所でみんな親切によくしていただいとでも嬉しく感謝しています。私達は「たま駅長」に会いたくて今年の2月から計画をたててきました。貴志駅に行ったのは4月28日と29日でしたが、ちょうど貴志駅は建て替え工事中で、勤務しているたま駅長の姿を見ることができず残念でした。でもたまはお客様を呼ぶパワーがあるのですごいと思います。和歌山電鐵が残って良かったですね。7月25日には新しい駅舎が完成し、たまの駅長室もできるそうですね。ちょうど夏休みシーズンで混み合うでしょうから私達は平日行きたいと思っています。私も貴志川線とたま駅長のファンです。がんばって下さい。応援しています。また会える日を楽しみにしています。

静岡県伊豆の国市 小坂洋子さん



昨日は、じゃがいも掘りのイベントを楽しませていただきありがとうございました。2才半の息子には、掘ったじゃがいもを袋に入れてもらい親子ともども収穫のある体験をさせてもらいありがたく思います。

貴志川沿線は自然環境もよいので、昨日の平池公園や交通公園、また…たま駅長に会いに遊びに行こうと計画しています。息子もたま電車を喜んでいました。じゃがいもは早速、夕食に肉じゃが、みそ汁に入れてとてもおいしかったです。関係者の皆様方、本当にありがとうございました。今後とも、貴志川線の発展を願っています。

和歌山市 池田美玲さん



先日は、お忙しい中ありがとうございました。「貴志川線の未来を“つくる”会」の皆様が、何としても貴志川線を守るため、学習し、語り、運動を広げ、切り拓いていった力に一同励まされました。

みなさんにいただいたパワーを力に私たちも「粟生線」をまもるため、知恵をしぼり、熱意を持ってがんばります。

神戸市 瀬戸恵子さん



電車の有難さを

自分の家は玄関を開けると目の前が線路でした。その頃は蒸気機関車で客車二輦で走っていたことを思い出します。以後、ガソリンカーから電車に変わり、南海電鉄の時代を経て現在は和歌山電鐵へと引き継がれました。自分は旅行でも、和歌山市内へ行くのでも電車を利用しないと行けない現状です。何時も感謝して乗せてもらっています。十年とか区切りをつけず永久に走り続けていきたいと念願しています。未来をつくる会の一員としてこれからもいろんな催しに協力させていただきたいと思っています。

和歌山市吉礼 吉村富士夫さん

視察受入れと交流会を積極的に行っています

つくる会では、運動の輪が広がることを願い、地方鉄道の再生と活性化に取り組む関係者・団体との交流を積極的に行っています。

H21年	4月26日	ふるさと線を守る東日本連絡会
	6月2日	常磐線複々線化促進期成会・水戸線複々線化期成同盟会（講演）
	12日	JR西労組中央本部青年女性委員会
	8月7日	交通運輸労働組合京都地方協議会
	9月13日	近畿ソーシャルビジネスネットワーク
	11月13日	長野市議会公共交通対策特別委員会
H22年	5月13日	神戸電鉄粟生線を考える会 第5回PIセミナー（名古屋市）（事例発表）
	6月3日	JR可部線可部駅・可戸駅間電化促進期成同盟会

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

会報と一緒に「ご意見・ご要望はがき」を送らせていただきました。つくる会への意見・要望や、和歌山電鐵への要望（列車ダイヤ、設備、乗車券など）をお寄せ下さい。

またボランティアスタッフの登録（新規・継続）も併せて同じハガキで実施しますので、よろしく願います。

（切手を貼らずに投函して下さい）

黒字化へ「チャレンジ250万」運動実施します

乗車人員250万人で貴志川線は黒字になります。あと30万人必要です。沿線の皆さんがあと4回（2往復）乗れば、観光客の増と併せて実現できます。つくる会では本年度から「チャレンジ250万運動」に取り組みます。会員の皆様の積極的な参加をお願いします。